学校番号	３０８

令和二年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「地学基礎　改訂版」　（新興出版社　啓林館）						
副教材等	「センサー地学基礎」　（新興出版社　啓林館）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎では、我たちがすむ地球の構造、地球の歴史、大気の構造や現象、宇宙のしくみ　について学習します。対象が大きいので、教室でできる実験や観察には限りがありますが、写真や映像も使って授業を行っていく予定です。
生徒の皆さんは日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち､そのしくみについて考える態度をもってください。疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもってほしいと思います。授業で、最低限の重要語句については覚えることも必要ですが、暗記ではなく、その事象について考えて、きちんと理解できるようになってください。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら、我々が生きている地球や宇宙への関心を高め，目的意識をもって観察や実験実習を行い、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら､地球や宇宙に興味関心をもち､意欲的に探求しようとするとともに､地学に関する科学的な見方や考え方を身につけようとしている。	地球や宇宙のなりたちや地学現象の中に問題を見いだし､探求する過程を通して､事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	地球や環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の現象を科学的に探求する技能を身につけている。	地球や宇宙の成り立ちや自然現象について、基本的な概念や原理･原則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察(授業での積極的な発言や態度) ノートやプリントの記述 レポートの作成や発表	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 探求活動のレポートや発表 定期考査の結果	観察や実験の時の様子（参加度、記録など） 観察や実験の記録やレポート 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやプリントの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	固体地球とその変動	地球の概観	○				a:地球の構造や、地震。火山の仕組みについて関心を持つ。 b:プレートの動きと地震や火山のメカニズムを理解する。 c:岩石の観察をおこない、観察の方法や岩石の理解している。 d:地球内部の構造を理解する。	学習状況 ノート・プリント 観察・実験 定期考査
		地球の内部構造				○		
		プレートテクトニクスと地球の活動		○				
		地震		○				
		火山活動と火成岩の形成			○			
		探求活動			○			
2学期	移り変わる地球	堆積岩とその形成				○	a:地球の歴史を調べる化石について関心を持つ b:地層の堆積について理解する。 c:化石や地層の観察の方法を理解し、まとめている。 d:地球と生物の進化の歴史を理解している。	学習状況 ノート・プリント 観察・実験 定期考査
		地層と地質構造		○				
		地球の歴史の区分と化石	○					
		地球と生命の進化				○		
		探求活動			○			
	大気と海洋	大気圏、水と気象				○	a:大気や天気について関心を持つ。 b:ｴﾈﾙｷﾞｰ収支や大気の循環について思考できている。 c:気象についての探求の方法を理解し表現できる。 d:気象現象に関する知識が得られた	
		地球のエネルギー収支		○				
		大気の大循環		○				
		海水の循環				○		
		日本の天気	○					
		探求活動			○			
3学期	宇宙の構成	太陽系の天体	○				a:宇宙について関心を持つ。 b:太陽や太陽系の誕生のプロセスを理解している。 c:映像教材などの観察によりいろいろな天体の姿を観察し、その特徴を理解している。 d:太陽や宇宙の構造を理解する。	学習状況 ノート・プリント 観察・実習 定期考査
		太陽系の誕生		○				
		太陽				○		
		太陽の誕生と進化		○				
		銀河系とまわりの銀河				○		
		宇宙の姿	○					
		探求活動			○			
	自然との共生	火山・地震災害と社会	○				a:自然災害と恩恵について関心を持つ。 b:人間活動と環境の変化について考えることができる。 c:観察や実習を通して地球環境について探求できた。	
		気象災害と社会	○					
		人間生活と地球環境の変化		○				
		探求活動			○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。